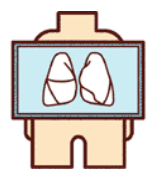


経過	入院日	手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目 ~ 退院日
			手術前	手術直後		
月/日	( / / ~ / / )	( / / )	( / / )	( / / )	( / / )	( / / ~ / / )
達成目標	1. 身体、精神的に問題なく手術に臨める		2. 痛みがコントロールされる		3. 歩行、食事ができる	4. 胸の管が抜けて退院できる
治療処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>●胸のレントゲン写真をみて、胸に管を入れることがあります</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●朝体重測定をします</li> <li>●長衣・紙パンツ・弾性ストッキングに着替えます。体温・脈拍・呼吸・血圧を測定し手術室へ歩いて移動します</li> <li>●手術は( )番目です</li> <li>●( )時に2階手術室入る為5分前に病室を出ます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●胸に管が入っています。抜けないよう注意して下さい</li> <li>●酸素を吸入します</li> <li>●尿管が入っています</li> <li>●医師の指示があれば吸入します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●酸素を徐々に下げて中止します</li> <li>●早朝、尿管を抜きます</li> <li>●体温・脈拍・呼吸・血圧の測定を毎日行います</li> <li>●回診で胸の管挿入部や手術創の確認をします</li> <li>●レントゲン結果により胸の管を抜きます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●深呼吸→傷を手で押さえ胸を大きく膨らませゆっくり息を吸ったり吐いたりしましょう</li> <li>●痰を出す→お腹に力を入れ大きく咳払いをしましょう</li> <li>※手術創や胸の管の抜去部の処置は外来で行います</li> </ul>	
点滴	●基本的に点滴はありません	●午後から手術の方は午前中から点滴を始めます	●術当日は点滴があります。翌日は朝で終了です	●術当日は抗生薬の点滴をします	●背中に痛み止めの管が入る場合があります	●痛みが強い時は呼んで下さい。痛み止めをします
内服薬	●手術前、眠れない時は夜9時に眠り薬を飲むことができます	●7時に胃薬を飲みます			●痛みが強いときは、我慢せずに声をかけて下さい。痛み止めをご用意できます	
検査	●採血、検尿、胸部レントゲン心電図、心臓カテーテル検査、腎機能を調べる検査				●採血、胸部レントゲン	
食事	●食事内容：常食/特別食( ) ●手術前日の夜9時まで食事ができます	●1番目の方は6時まで、2番目以降の方は9時まで飲水できます			●医師の指示により、むせ込みがないか確認後、水分が摂れます	●医師の指示により、昼から食事が始まります
活動	●安静度自由 ●ベッドギャッジアップは呼吸改善の為にいきます	●安静度自由	●体を動かしたい時は、看護師に声をかけて下さい	●ベッドサイドから歩行できます。トイレにも歩いていけます	●手術側の腕や肩関節も積極的に動かしましょう	
清潔	●胸の管が入っている時は入浴はできませんので、下半身のみのシャワーとなります	●手術前に歯磨き・洗面などを済ませて下さい。化粧や整髪剤は使用しないで下さい		●胸の管が入っている時は下半身シャワーができます	●胸の管が抜けると、全身シャワー浴ができます	
説明	●呼吸訓練・リハビリテーションについて説明があります ●医師より手術の説明があります ●麻酔科医、手術室看護師の訪問があります	●手術見学を希望されるご家族は病棟でモニターにて見学できます	●手術終了後手術終了後、ご家族に医師より説明があります。手術中は病棟を離れないようにお願いします	●リハビリテーションについて説明します	●主治医から退院の許可がおり師長と相談し退院日が決まります。次回外来予約票をお渡しします。退院療養計画書にて今後の留意点を説明します	
備考	●手術用の必要物品をそろえ、名前(フルネーム)を書いて下さい	●眼鏡・コンタクト・貴金属類・義歯は全て外して下さい			●胸の管を抜去した翌日、レントゲンで肺の縮まりがない時は当日退院となります	

入院期間については現時点で予想されるものです。

担当看護師:

患者・家族: